

2026 年 7 月 31 日

独立行政法人 国際協力機構（JICA）・駐日エチオピア大使館が主催するイベント 「コーヒーがつなぐ日本とエチオピア～モカコーヒーの魅力を探る～」に キーコーヒーが協力しました

キーコーヒー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長の柴田 裕）は、7 月 15 日（水）にエチオピア大使館で開催されたイベント「コーヒーがつなぐ日本とエチオピア～モカコーヒーの魅力を探る～」（主催：独立行政法人 国際協力機構（JICA）・駐日エチオピア連邦民主共和国大使館）に協力しました。



イベントの様子



イベントの登壇者

■「コーヒーがつなぐ日本とエチオピア～モカコーヒーの魅力を探る～」について

「コーヒーがつなぐ日本とエチオピア～モカコーヒーの魅力を探る～」は、日本で最も好まれるコーヒーの銘柄である「モカ」の魅力を発信すると共に、独立行政法人 国際協力機構（以下：JICA）がエチオピア連邦民主共和国（以下：エチオピア）で展開している「エチオピアコーヒー開発戦略支援」を紹介する、JICA と駐日エチオピア大使館が主催するイベントです。

イベントには、駐日エチオピア連邦民主共和国大使館 特命全権大使 ダバ・デベレ・フンデ閣下もオンラインで参加したほか、World Coffee Research CEO のヴァーン・ロング博士からもビデオメッセージが寄せられました。

■「エチオピアコーヒー開発戦略支援」に参画しキーコーヒーの社員がエチオピアで活動

「アラビカ種コーヒーの発祥の地」と呼ばれるエチオピアで、「コーヒー産業の持続的な発展」「小規模生産者の生計向上」「遺伝資源の保全・活用」を目指し、JICA が 2025 年から展開している技術協力。キーコーヒー（株）からは、持続的なコーヒー生産の実現を目指す専門部署「コーヒーの未来部」から 5 名が短期専門家として参画。現地を訪れ、エチオピア農業研究機構（EIAR：Ethiopian Institute of Agricultural Research）、コーヒー・紅茶庁（ECTA：Ethiopian Coffee and Tea Authority）のメンバーと共にタスクフォースを組み、エチオピアでのコーヒー産業の実態調査やデータ収集などに取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

キーコーヒー株式会社 広報チーム 担当 永坂・高木

TEL 03-5400-3069 / Email key1@keycoffee.co.jp

【キーコーヒーのエチオピアでの取り組み】

キーコーヒーでは2024年に、環境省から「令和6年度 気候変動に脆弱な小規模コーヒー生産者の明るい未来提案業務」を受託。アラビカ種コーヒーの原産国と言われるエチオピアで、気候変動の影響を調査するなど、エチオピアで活動を展開しています。2025年には「第9回アフリカ開発会議（TICAD 9）」内のイベント『気候に対して強靱で脱炭素なアフリカに向けた日・アフリカパートナーシップ』（主催：環境省）に代表取締役社長の柴田が登壇し、エチオピアでの活動内容を紹介するなど、「アラビカ種コーヒーのふるさと」であるエチオピアのコーヒーを守るため、継続的に活動しています。

“アラビカ種コーヒーのふるさと” エチオピアでキーコーヒーの社員が気候変動の実態を調査

<https://www.keycoffee.co.jp/future/detail/14>

「TICAD 9」で開催された環境省主催イベント『気候に対して強靱で脱炭素なアフリカに向けた日・アフリカパートナーシップ』に代表取締役社長 柴田が登壇しました

https://www.keycoffee.co.jp/news/detail/news_250902_2

キーコーヒーは、『珈琲と KISSA のサステナブルカンパニー』を掲げ、喫茶文化の継承と持続可能なコーヒー生産を実現する事業活動を行ってまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

キーコーヒー株式会社 広報チーム 担当 永坂・高木

TEL 03-5400-3069／Email key1@keycoffee.co.jp